

効果③ 地域交通状況の改善

- 開通区間に並行して走行する路線バスでは、4車線で開通した国道4号春日部古河バイパス（新4号バイパス）や圏央道に交通転換が図られ、バス停間の定時性が向上。
- 路線バス利用者は、目的地への到着時間の遅れやバスの待ち時間が減ったことを実感。

路線バスの定時性が向上

朝日自動車株式会社の声

路線バスの定時性が向上、地域間の交流に期待！



● 新4号バイパスの4車線化や圏央道の開通により、平日の朝夕混雑時間帯を中心とした境大橋付近の渋滞が緩和され、バスの定時性が向上しました。

出典) 平成27年6月 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

路線バス利用者の声



(50代、女性)

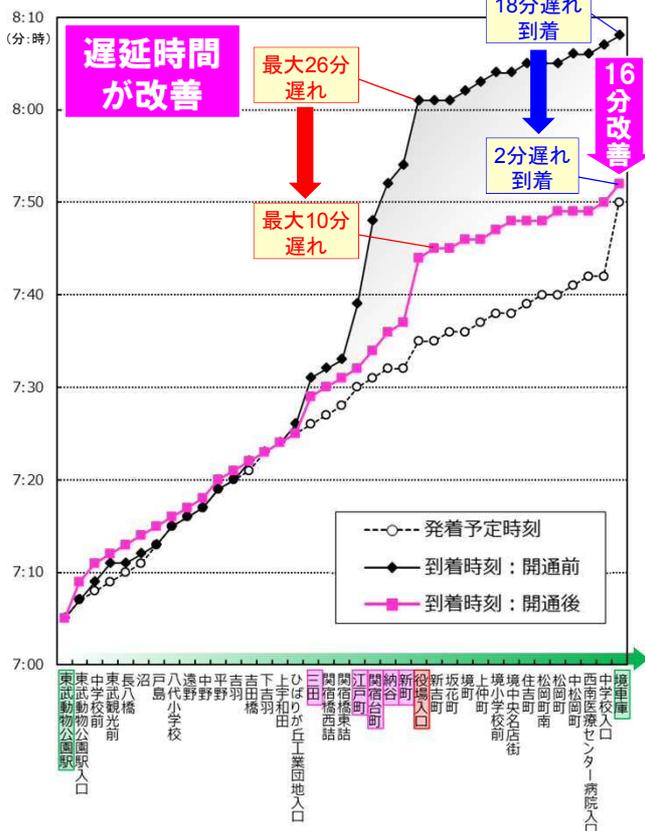
● 以前は渋滞により到着時間が遅れることがありましたが、**現在では遅れることは殆どなくなり、とても良くなりました。**

● 帰りも遅れることが殆どなくなり、**バスが到着するまでの待ち時間が減るなど助かっています。**

出典) 平成27年7月 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

バス停間の所要時間の変化*

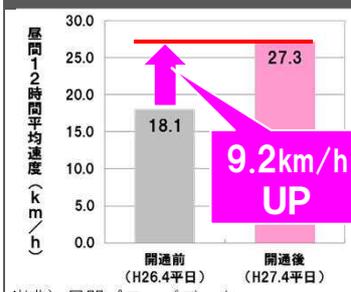
※7時台出発・下り（東武動物公園駅⇒境車庫行き）



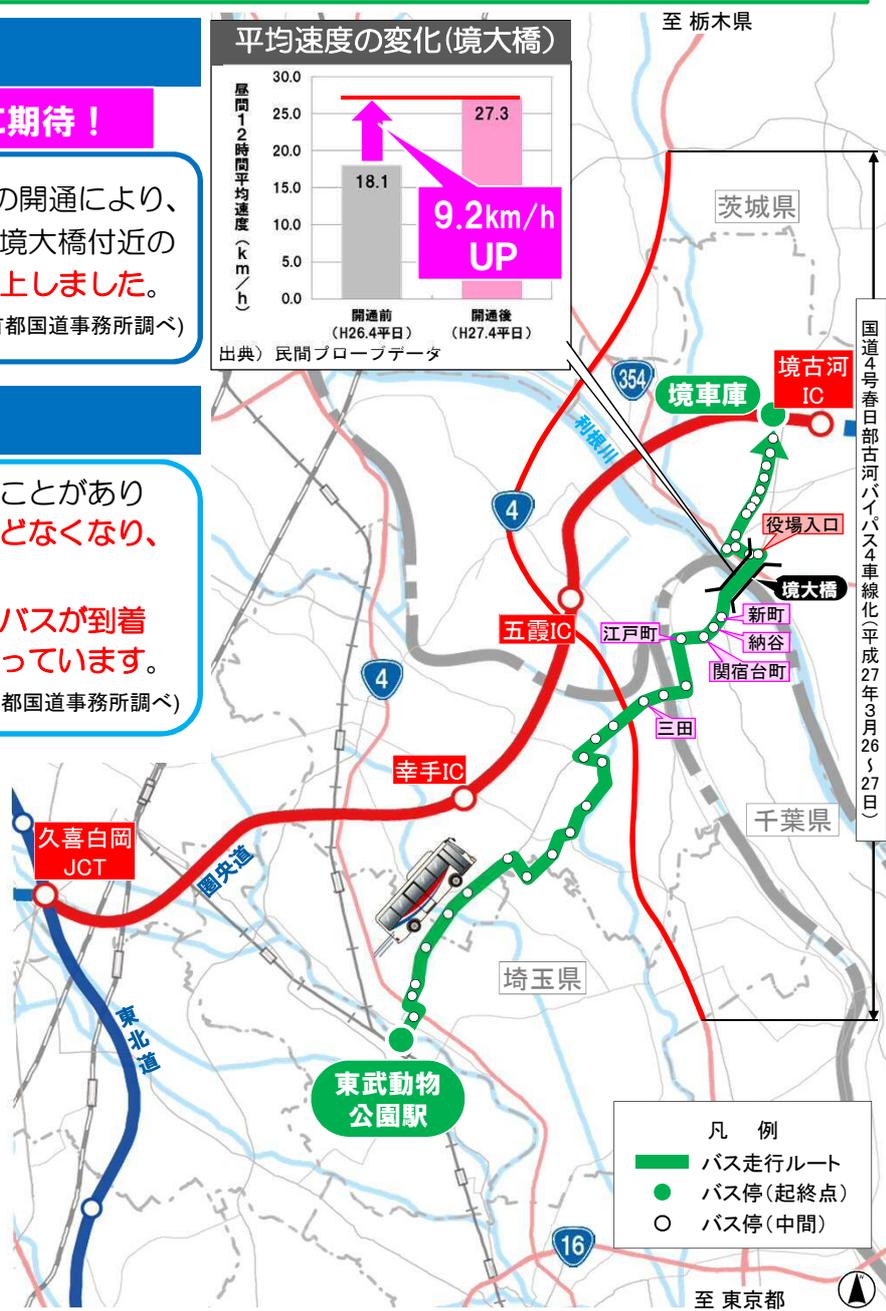
出典) 国土交通省データ (バス走行状況調査)

開通前: 平成27年 2月 4日(水) 開通後: 平成27年 6月23日(火)

平均速度の変化(境大橋)



出典) 民間プローブデータ



路線バスの走行状況 (境大橋)



撮影: 平成27年2月4日(水)8時台

撮影: 平成27年6月23日(火)8時台